

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

水産課長 鈴木 岳明

電話番号

0852-22-5311

事務事業の名称	漁場利用調整事業
目的	(1) 対象 漁業者及び遊漁者 (2) 意図 海区漁業調整委員会の開催等を通じて円滑な漁場利用調整と適正な資源管理を図る。
事業概要	海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会を開催し、円滑な漁場利用等について協議、決定するとともに、漁業と遊漁の円滑な漁場利用を図るため、漁場利用調整会議の開催、遊漁船業者の指導等を実施する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 海区委員会等開催	目標値		15.0	15.0	15.0	15.0	回
	式・定義 開催回数	実績値	14.0					
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,268	2,492
うち一般財源 (千円)	1,178	2,153

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

海区漁業調整委員会等は概ね順調に開催されており、円滑な漁場利用調整が行われている。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

海区漁業調整委員会等は、具体的な協議案件に応じて開催するため、回数は年によって変動するものの適宜開催することができ、円滑な漁場利用調整と適正な資源管理に寄与している。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

特になし。

②困っている状況が発生している「原因」

該当なし。

③原因を解消するための「課題」

該当なし。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

今後も海区漁業調整委員会の開催等を通じ、円滑な漁場利用調整と適正な資源管理を図る。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。